

2011年度文学部卒業論文題目

【行動科学科】

〈哲学講座〉

- 磯田 将拓 高度情報化社会におけるメディア・リテラシー—テレビとインターネットとの相互関係をとおして—
- 金井 佑太 エンハンスメントが変える人間観とは—気分エンハンスメント論を通じて—
- 木田 翔一 信念状態の機能的定義不可能性について
- 久保 亜弓 尊厳死・安楽死問題と、その解決を阻む「本当の問題」—哲学的ジレンマの分析を通じて—
- 櫻井智恵理 魂の存在と行方をたずねて—古代ギリシアを中心に—
- 菅生 悠 自己愛について—自分自身との向き合い方を考える—
- 土嶋 秀介 古代ギリシアにおける人間性と教養の関係—プラトン『国家』を中心として—
- 長谷川瑞季 本居宣長における感情にまつわる問題とその解決—「ものあはれ」論における「共感」を中心に—
- 畠山 祐美 柔弱謙下の新解釈—『老子』「不仁」説の観点から—
- 浜橋 光一 グライスの会話の理論において曖昧になっている点

〈認知情報科学講座〉

- LEE DONGYUN ハトにおける視覚的カテゴリ探索：探索非対称性・妨害刺激の試行間類似性の検討
- 石 康晴 日本語会話におけるうなずきの形式と発話との相互関係
- 岩田夏菜子 カテゴリ学習における状況の違いが学習プロセスに与える影響
- 金澤 直人 洞察問題の解決過程の確率モデルによる考察
- 川島今日子 顔刺激を用いたカテゴリの視覚探索課題の検討
- 小松由梨果 ハトにおけるKanizsa型表面錯視の検討

- 小脇 知子 共食会話中の食事動作の停止
高木 宏輔 ワードネット・連想単語表を基とした意味ネットワークの構築とその内部におけるアドホックカテゴリーの成員の解析
- 武田 理実 アナウンスメントのプロミネンスによる文の印象評価
林 宏弥 文章理解における字義の意味と含みの意味の処理順序
吉村 淳 説明場面におけるジェスチャーが聞き手の内容理解に与える影響の研究

〈心理学講座〉

- 新井 亮子 経路学習に基づく認知地図の形成と利用
伊木 佐織 弁明状況における話者の信憑性と弁明内容の生起確率の効果
- 池間 正剛 アタッチメントスタイルがからかいの意図推論に及ぼす影響
- 伊佐治夏海 Double flash illusionの視覚属性に対する聴覚のタイミングの影響について
- 板野 沙姫 写真画像とその補色画像の色の補完のされかたの差についての検討
- 梅原 千明 視覚探索に関与する認知過程についての課題間比較による検討
- 小野 拓美 コンピュータを介したコミュニケーションにおける同期性と情報伝達
- 釜田 理代 楽曲のテンポや音数が時間評価と速度評価に与える効果
川島 宏実 Empathizing-Systemizing理論におけるブレインタイプ間の認知能力の比較—Bタイプに着目して—
- 菊地 彩 顔と名前の再記憶における教示効果の検討
小館フユミ 画像の奥行き方向の運動知覚が心理的時間に及ぼす影響
佐藤 絢 行動が自発的であるか否かと、その行動に対する虚偽返答時における生理的指標の変化
- 高野 萌由 変化盲課題における評価性の印象の低下について

- 竹内 章悟 視覚的注意が視聴覚刺激の同期性判断の正答率・反応時間に及ぼす効果の検討
- 竹歳 亜美 主観的ストレスと身体的ストレスが課題成績に与える影響に関する検討
- 野中 佑基 リーダー—メンバー関係とメンバーの関係的自己観がリーダーシップの有効性に及ぼす影響の検討
- 野元 葵 FRC (Finger-ridge count) とパーソナリティ要因、空間・社会的認知課題との関係についての検討
- 平山 雄基 関係初期における対人相互作用へのシャイネスの影響—相手からの働きかけに着目して—
- 深津 依里 組織市民行動の規定因の検討—職場内の組織市民行動、上司—部下関係、パーソナリティ要因に着目して—
- 古野 穂波 社会的ジレンマ状況における行動選択に関わる環境要因の検討
- 山野 浩志 両眼混色刺激を用いた両眼性色処理過程の順応特性

〈社会学講座〉

- 石塚 千種 地域コミュニティ形成過程と住民意識—千葉県浦安市舞浜三丁目「チームM3」を事例として—
- 伊藤 弘高 震災から見る現代日本の流言
- 今村 亮介 氏が変わるといふこと—消えない家制度—
- 太田久美子 有機農業運動の〈提携〉から引き継がれるもの—「つくる人」「たべる人」のバーチャルな関係を越えて—
- 大塚けい子 VOCALOID論考—ウツ曲に見る若者の未熟化—
- 岡部香奈子 「理想とする男性像」の男女間のギャップの考察—『冬のソナタ』のペ・ヨンジュンと、『昭和残侠伝』の高倉健の対照的な人間像—
- 菊池 淳子 「主婦ブログ」に見る人間関係
- 河合遼太郎 ヤンキー的サブカルチャーの消費—「個性」を迫られる若者たち—
- 五月女 敦 「原発の語られ方」から考える日本のジャーナリズム

- 佐藤久美子 中二病から考える現代の思春期
高橋 美加 子どもの食環境と家族のつながり
中山絵理香 大学で何を身につけるか—学部選択と職業意識—
浪川 千晴 3.11から切り取る、今の日本—“ボランティア”という
言葉の不可思議性—
- 二階 靖代 洋楽雑誌分析
西本有里佳 女性におけるライフイベントに応じたスポーツへの関わり方
野沢 忠正 ポストメリトクラシーと社会システムの将来
星 大輝 ノリの社会—変容する若者の自己表現—
松木 麻美 噂はなぜ広まる?—そのメカニズムを人間の心理とメディア
の多様性から探る—
- 三羽早希子 抗議運動の変遷とその批判についての考察
村上 数真 インターネット上の自己表現とアイデンティティー—なぜ
つぶやくのか—
- 森田 有一 現代的にテレビ視聴—テレビ離れと表現される視聴空間—
八木 陽菜 「ゆとり教育」の捉えられ方の移り変わり
渡井 謙 男性集団と女性—女性の生きやすさを考える—
小野田晃子 『盛る街・にぎわう街』—人々は街の何に惹きつけられて
その街を訪れるのか—
- 東条沙緒理 日常の中の非日常性=街づくりは人づくり=—巢鴨地藏通
り商店街の事例から

〈文化人類学講座〉

- 高部 芳紀 関わり合いを通して
大野 真 運動する「主体」—日本のパレスチナ運動を事例に—
井上 千明 学校と地域の関係—秋田県湯沢市山田地区の例—
坂本 道孝 グリーン・ツーリズムの可能性—最後の清流で—
島田 治佳 多文化共生に向けて—千葉県市原市の事例を通して—
藤井 彩 多文化共生と多文化強制—コリアンタウンと呼ばれて—
堀田 直弘 見せてやるぜ!俺達の木更津スピリット!!—ローカルヒー
ロー鳳神ヤツルギを事例としたファン・コミュニティの形

【史学科】

- 池田 直樹 日本の「責任」研究序説—近代日本の「責任」に関する歴史学的考察—
- 岩井 優香 幕末期剣術習得者の政治意識と行動—武蔵国多摩郡日野宿出身者を中心に—
- 落合ちづる 15世紀末ローマのサンタ・マリア・ソプラ・ミネルヴァ聖堂カラファ礼拝堂におけるフィリッピーノ・リッピ作《受胎告知—聖母被昇天》のキリンとパレードについて
- 小野間愛梨 近世秋田藩における民間宗教者—在地修験を中心に—
- 金子 歩美 現代の死生観—在宅死・病院死を通して考える—
- 加納 誠 「日本映画」の海外進出—日独合作映画『新しき土』（1937年）が「戦前」日本の映画輸出に与えた影響—
- 河島 由起 官途統制から見る毛利氏の国衆支配の変遷
- 木下恵良里 石川光陽—空襲写真の受容、その歴史的文脈の考察—
- 木原 大輔 18世紀リヴァプールにおける綿花市場の発展と綿花商人の実態
- 黒木 俊輔 フランスにおける対ロマ政策（1895～1946）—ヴィシー政権対ロマ政策再評価のために—
- 小池 良輔 「英国策論」と公議政体論の関連性—幕末期における次時代政体へ—
- 酒井 静香 17世紀における「諸国人物図」の変遷から見る他者認識
- 坂本 秀幸 創造された革命、『辛亥革命』
- 佐藤 理 パレスチナ解放闘争における武装闘争路線の失敗について
- 佐野 匡平 歴史用語としての3B政策・3C政策の起源
- 宍倉 康郎 「昭和の大合併」の展開—千葉県習志野市成立の様子を手がかりに—
- 柴田 瑛一 15世紀イタリア・ルネサンスにおけるパトロンの趣向の変化についての—考察—フラ・アンジェリコ作《リナイウォーリ祭壇画》を中心として—

- 白井 翔大 音律史—12等分平均律の過去と未来—
白土 玄 手宮・フゴッペ洞窟研究史をめぐる一断面
神保 勇 エジプトとアルジェリアにおける民族意識の変遷—ナセル
とFLNを通して—
- 須山まなみ 雑誌に見る「婦人参政権」—『太陽』『中央公論』『キング』
の1920年から1945年—
- 鈴木香奈子 出版統制と雑誌『少年クラブ』—戦後メディアが子供にも
たらしたものの—
- 鈴木 健一 熙寧・元豊年間の治水事業—募役法との関係を中心に—
高田 剛 「オランダ領ブラジル」総督ナッサウ伯統治下の社会変容
—ペルナンブーコ州を中心に—
- 竹内 新平 植民地統治下における在朝日本人の諸相と朝鮮観—浅川巧
を中心に—
- 谷本 大輔 ドイツ帝国の保護貿易政策の意義とその中におけるユン
カーとブルジョワジーの展開
- 田村 優美 伊藤若冲筆「象と鯨図屏風」研究—図像的系譜の検討を中
心に—
- 中谷 亮介 織田信長による安土城築城の意義—発掘調査を中心に—
根本はるか 15世紀イタリア・ルネサンス社会における画家像—ネー
リ・ディ・ビッチの『覚書』と作品を中心に—
- 芳賀紗由美 縄文時代中期の中部地方における人面裝飾付土器について
—渡部誠氏の研究を踏まえて—
- 林 聡香 鶴岡放生会と得宗権力—鶴岡放生会流鏑馬—検討の一助と
して—
- 藤田 貴士 有田八郎の戦後政治への参画—再軍備問題を中心に—
藤原 明久 日本と渤海の関係およびその変化—個別の項目を総合的に
捉えること—
- 増永 洋一 第一次日独伊三国同盟交渉から見た海軍中堅士官
矢吹 龍介 近世後期出羽国村山郡における地域秩序と郡中惣代制
山田 彩絵 戦争をどのように伝えるか—丸木位里・俊が描いた沖縄戦
と佐喜真美術館の活動から考える—

- 山村 大地 日露戦争期における新聞メディアの果たした役割—静岡県
の地方新聞を対象に
- 渡部 綾菜 近世水戸藩の中小姓について一家臣団構成における位置づ
け—
- 渡邊 和樹 華北における「名士」の形成と処世術

【日本文化学科】

- 安樂城あゆみ 近世男色考—現代BLの立場から読む『男色大鑑』—
- 石切 春菜 現代日本語における「はい」について
- 今井 美希 若者向け女性ファッション誌における言語表現について
- 梅宮 育実 万葉歌からみる古代の土地意識
- 大石 実穂 三島由紀夫『仮面の告白』論
- 大橋菜由子 漁業をめぐる民俗私考—万祝の図柄に着目して—
- 河野 弘恵 澁澤龍彦『高丘親王航海記』論
- 木村 遥香 森絵都『カラフル』論
- 熊谷 優子 江戸の猫—猫騷動物のなかの怪猫—
- 栗原 久実 香の文学史—日本文学における反魂香のすがた—
- 小枝真貴子 役割語としての方言
- 合原加奈美 宮崎県東諸の方言について
- 下川 知子 吉本ばなな『キッチン』論
- 新城真寿美 加藤周一『日本文学史序説』論
- 菅原 南 中世における天狗像
- 須田 千絵 宮澤賢治の自然観
- 高橋恵理子 『山家集』における西行の無常観
- 高橋 翔 早口言葉から見る言い難さの理由
- 高橋 美咲 『源氏物語』研究—紫式部が雲居の雁に託した女性像
- 中島 綾香 海外における日本語韻文表現の受容
- 中谷 友美 小川洋子『博士の愛した数式』論
- 中村昂一郎 アイヌの伝統的服飾品に見られる文様の差異
- 中村千香子 安部公房『他人の顔』論
- 平野 真子 『伊勢物語』の研究—業平と「禁忌の恋」について

- 古屋 涼子 ら抜き・れ足す・さ入れ言葉について
ペッサワン ピーラチャット 日本語の助数詞とタイ語の助数詞の対照
研究
三浦 範明 内水面漁撈の現在—印旛沼を中心とした、内水面における
水産物採捕の実態と今後の変化の可能性—
水野 由麻 中世説話における人から動物への「変身」
八木澤美有 伊坂幸太郎『魔王』『モダンタイムス』論
横山 玲子 『今昔物語集』における龍蛇像

【国際言語文化学科】

- 阿部 響子 携帯メールにおける異文化接触場面
茨木 桃子 『美女と野獣』の伝承に伴う変化
板橋 悠 絵本の表現構造—酒井駒子『よるくま』をめぐって
内沢 綾子 『異邦人』ムルソーの人物像
埋金美弥子 The Pseudo-cleft Construction in English
遠藤 里紗 チャイコフスキー作品における民謡の使われ方
岡本 綾香 The Inconsistency of Anne's Challenge to Victorian
Cultural and Literary Conventions in Lucy Maud
Montgomery's *Anne of Green Gables*
尾形 綾香 小説と歌劇の『カルメン』—歌劇の登場人物が作り出す対
比効果
郭 ミンジ デザイナー・スキャパレリのファッションと芸術—シュー
ルレアリスムとスキャパレリ
金谷 佳大 ホロコーストはどのように起こったのか—ナチスの絶滅政策
に関する考察
桑原 直子 ロシア語版村上春樹作品に見る日本語とロシア語の違い
後藤 晶 モーツァルトの女性観
佐藤慶太郎 Huck's Humor and a Safe Place in *The Adventures of
Huckleberry Finn*
佐藤 世理 ヘルマン・ヘッセ『荒野の狼』にみる「内的独白」と警告
佐藤 真理 Huck's Moral Development in *The Adventures of*

Huckleberry Finn

- 篠塚 奈々 「解放」のオペラ『後宮からの誘拐』—寛容の世界
杉山 詩織 感謝・謝罪表現の日独比較—Entschuldigungの用法
多賀沙由美 The Cognate Object Construction in English
田口 咲江 ドイツ語間接話法における接続法第1式と第2式の違い
について
館田みなみ 『ミツバチのささやき』(*El espíritu de la colmea*) におけ
る象徴
田中 志織 The Construction and the Theme of *Northanger Abbey*
谷口 遼太 The Continuity between the Early and the Late 1960s of
the U.S. in Social Movements and Popular Music
徳留 千草 The Burden of the Past in *Beloved*
ニコローバ・ビオリーナ ブルガリア正教 東方宗教の信仰と生活
廣重 玲佳 目的代名詞 (フランス語) —Je parle français et Je le
parle—
細貝 美樹 The Meaning of Being White in *Tar Baby*
水上 千織 ハイネの神話・伝説・宗教観
水田 繭子 John Philip Sousa's Musical Contributions to American
Culture
柳沼 香林 The American Adam in Cormac McCarthy's *The Road*
山口美沙貴 グリム童話の森の描写について
結城 絢 The Reason Why So Many English Speaking Countries
Teach *Lord of the Flies* in High School—From the
View of Rousseauvian Thinking
横田美都里 bekommen受動—werden受動との視点の比較
横山 由貴 サン＝テクジュペリ『星の王子さま』—物語を作家の遺書
として読む
吉沢加奈子 The Beatles and the Counter Culture
吉田 里奈 日米テレビドラマ研究—2000年代の学園ドラマ比較
劉 爽 Amy Tan's *The Joy Luck Club*: What Tan Tries to Tell
by Showing Eight Female Characters